

# 読書のすゝめ

その24

H28

7/21

## 夏休み中の図書館利用について

夏休みもほぼ毎日開館していますので、ぜひ利用してください！

【土日・11日（山の日）・15日は閉館です。】

\*8時半から17時 開館します。

\*本の貸し出しは係教師が行いますので、司書室に声をかけてください。

\*飲食・私語は慎んでください。



## 芥川賞・直木賞発表

2016年上半期・第155回の芥川賞・直木賞が発表されました。

芥川賞は村田沙耶香さんの『コンビニ人間』、直木賞は荻原浩さんの『海に見える理髪店』が受賞。『海に見える理髪店』は本校図書館にありますのでこの夏にぜひ！



### 『海に見える理髪店』

オギワラヒロシ

(集英社)

それぞれ独立した話が6話収録されています。とても読みやすいです。伝えられなかった言葉。忘れられない後悔。もしも「あの時」に戻ることができたら…。母と娘、夫と妻、父と息子。近くて遠く、永遠のようで儚い**家族の日々を描く物語**。誰の人生にも必ず訪れる、喪失の痛みとその先に灯る小さな光が胸に染みる家族小説集。しんみりしつつもふっと一息つけるような作品ばかりです。

- ① 主の腕に惚れた大物俳優や政財界の名士が通いつめた伝説の床屋。ある事情からその店に最初で最後の予約を入れた僕と店主との特別な時間が始まる「**海に見える理髪店**」。
- ② 意識を押しつける画家の母から必死に逃れて十六年。理由あって懐かしい町に帰った私と母との思いもよらない再会を描く「**いつか来た道**」。
- ③ 仕事ばかりの夫と口うるさい義母に反発。子連れで実家に帰った祥子のもとに、その晩から不思議なメールが届き始める「**遠くから来た手紙**」。
- ④ 親の離婚で母の実家に連れられてきた茜は、家出をして海を目指す「**空は今日もスカイ**」。
- ⑤ 父の形見を修理するために足を運んだ時計屋で、忘れていた父との思い出の断片が次々によみがえる「**時のない時計**」。
- ⑥ 数年前に中学生の娘が急逝。悲嘆に暮れる日々を過ごしてきた夫婦が娘に代わり、成人式に替え玉出席しようと奮闘する「**成人式**」。

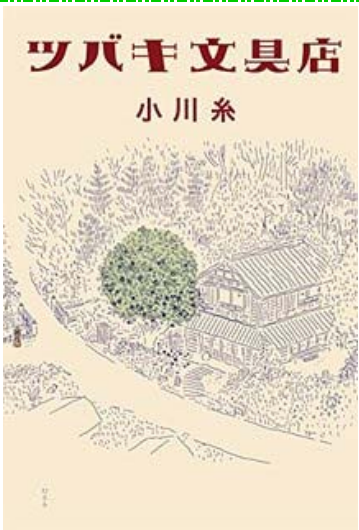


### ☆いつか来た道の本もいかがでしょうか。

『ツバキ文具店』小川糸 (幻冬社)

家族、親友、恋人……。大切に想ってっているからこそ、伝わらない、伝えられなかった想いがある。

鎌倉の山のふもとにある、小さな古い文房具屋さん「ツバキ文具店」。店先では、主人の鳩子が、手紙の代書を請け負います。和食屋のお品書きから、祝儀袋の名前書き、離婚の報告、絶縁状、借金のお断りの手紙まで。伝えられなかった大切な人への想い。あなたに代わって、お届けします。



\*ベストセラー『食堂かたつむり』の著者が描く、鎌倉を舞台した心温まる物語です。

※二度と来ない2016年の夏！

学習・部活動・ボランティア...

人々の出会いとともに一冊の良書と出会えますように！

